



# 花北青雲PTA会報

第103号

発行：令和3年3月 花北青雲高等学校PTA広報委員会



〒028-3172 岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第11地割1825番1  
電話 (0198)45-3731(事)・3732(職) FAX (0198)45-3745(事)・3746(職)  
URL : <http://www2.iwate-ed.jp/hkb-h/>



## ありがとうございました

PTA会長 青木俊樹



日頃より  
PTA活動  
へのご理解

とご協力を頂いております  
保護者の皆様ありがとうございます  
また、校長先生をはじめ教職員の皆様、今年  
はコロナ禍の中でいろいろ  
なご苦労があったと存じ  
ますが学校運営を無事に行  
っていただき心より厚く  
お礼を申し上げます。

卒業生の皆さん、ご家族  
の皆様、ご卒業おめでとう  
ございます。高校生活を終  
えて新しい春を迎えること  
と思います。次のステージ  
でも青雲生の誇りをもって  
頑張ってください。

さて、昨年年始より続い  
ている新型コロナウイルス  
の影響で今年度は高総体を  
はじめ、各種大会が中止に  
なる中で三年間の集大成を  
満足のいく形で終えられな  
かった悔しさや悲しみが  
あったと思います。この1  
年間は今まで当たり前に  
できたことが当たり前ではな



くなくなってしまいました。そ  
んな中でも皆さんは精一杯  
頑張ってきたことと思いま  
す。皆さんが努力してきた  
こと、我慢してきたことは  
決して無駄ではなく今後必  
ず役に立つときがきます。  
高校生活で培ってきたこと  
を進学先や就職先で発揮し  
てください。このコロナ禍  
は依然として終息の気配を  
見せておりませんが、終息  
するときは必ずきます。そ  
の時には以前のような生活  
様式ではないかもしれませ  
ん。目まぐるしく環境が変  
化する中でどのように対応  
していくかをよく考えて行  
動しましょう。

若い皆さんには進化して  
いく力があります。そして、  
まだまだ無限の可能性があ  
ります。

最後になりますが、子供を  
通じて高校生活に関わり、  
自分自身も一緒に成長する  
機会を与えてくださった皆  
様に感謝申し上げます。

## レズリエンス

校長 太田優子



今年度は  
新型コロナウイルスの

影響を受け学校生活も一変  
しました。行事や大会も中  
止や延期、変更を余儀なく  
され、感染防止対策を行  
いながらどのように教育活  
動を進めていくか模索し検  
討を迫られる日々でした。3  
年生の進路では就職試験開  
始が1ヶ月遅くなりオンラ  
インによる試験も行われる  
など、これまで経験のない  
事態への対応を生徒も教職  
員も手探り状態で進めなけ  
ればならない1年でした。

このような中、保護者の  
皆様には、本校の教育活動  
に対しご理解とご協力を頂  
き心より感謝申し上げます。  
また、3年生の保護者  
の皆様、お子様のご卒業お  
めでとございます。卒業  
の日を迎えられたことを教  
職員一同お慶び申し上げます  
とともに、3年間に渡り  
温かいご支援を賜りました  
ことに改めて感謝を申し上げ  
ます。



さて、昨年11月に宇宙飛  
行士野口聡一さんが搭乗し  
た宇宙船が打ち上げられま  
した。この宇宙船の名前は  
「レズリエンス」。「レズリ  
エンス」は「困難から回復  
する力」などの意味があ  
り、新型コロナウイルスで  
苦しむ世界が元に戻るため  
の力になりたいとの思いを  
込め、搭乗員4人で相談し  
て名前を決めたといいま  
す。コロナ禍にめげず、地  
球の皆が協力して日常を回  
復しよう、といった願いも  
託したそうです。

教育の現場でも、「レズ  
リエンス」はしばらく前か  
らキーワードになっていま  
す。誰しもが困難に直面し  
ます。そのときに、回復で  
きる力を身に付けさせるこ  
とは、学校や家庭の教育に  
おいて今後さらに重要と  
なっていくことでしよう。  
また、多様な考えや個々が  
持つ強み、知恵を合わせる  
ことで、一人では解決が困  
難な事を乗り越えられる可  
能性が出てきます。当然、

多様な考えはぶつかり合  
い、すぐに合意できるとは  
限りませんから、交渉力や  
協調性も養わなければなり  
ません。多様性は、心の強  
靱さ、復活力を高め、協力  
して物事に取り組むことの  
大切さや難しさを認識させ  
るとともに、解決策を導く  
鍵であると思います。本校  
の学びは、各教科の学習を  
基礎とし、3学科の専門科  
目や学科を超えた選択科目  
による実践的な学習、地域  
と連携して行う探究活動や  
進路学習、意欲的に取り組  
む部活動など多様であり、  
レズリエンスにつながると  
考えています。

コロナ禍は、未だ収まり  
そうにありませんが、現状  
で出来ることを工夫し実行  
することや他者への思いや  
り、そして困難な状況を乗  
り越え、しなやかに適応し  
生きていくことのできる力  
を今後も育んでいきたいと  
思います。  
生徒たちの成長を支援し  
応援していくために、引き  
続き保護者の皆様のご理解  
とご協力を賜りますよう、  
よろしくお願いいたしま  
す。



# 青雲祭を見学して

母親委員会委員 伊藤悦子

令和2年10月31日、青雲祭を見に行きました。例年であれば、母親委員は朝から、「おふくろ亭」で販売する「八重山そば」の準備で忙しく動いている日です。「おふくろ亭」は母親委員会のメインの行事の一

つで、昨年一昨年と委員丸となって目標の250食を完売して来ました。今年はその「おふくろ亭」は中止となってしましました。残念であります。が、生徒や御家族、ひいては周辺の方々の健康と安全

のためでした。発表や展示等も例年とは変わっていましたが、生徒の皆さんが一生懸命に制作したり、練習

して来たことが伝わってきました。いつも「おふくろ亭」が忙しく、完売してから見学していたのですが、今年、ゆっくりじっくり見ることが出来ました。最後の青雲祭だったので、そ

のことはありがたかったと思っております。来年度以降に「八重山そば」を、今度は一般の見学者として食べに來たいと思いますので、母親委員の皆さん頑張ってください。

## 青雲祭中夜祭に参加して

3年A組 小田島 和希

青雲祭で毎年、行われていた体育館でのステージ発表は、今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、できなくなるのではと心配していました。しかし、イベント用トラックを借用できることになり、校庭で中夜祭が開催できることになりました。このために結成したバンドチームでは、放課後や休日の時間を使い、2週間ほど練習を重ねてきました。楽器の演奏歴が1か月もないメンバーでの取り組みで、前日までうまくいくか分からない状態でした。しかし、一人一人が絶対成功させるという気持で臨んだことで本番当

日は予想以上の盛り上がりを見せました。メンバー全員が、気持ちよくパフォーマンスできた。コロナ禍の中、一生、思い出に残る青雲祭になりました。

イベント用トラックを借用して、中夜祭を企画された青雲祭の企画委員や先生方に深く感謝いたします。





# 一筋の道をゆく我等

## 第49回全国高等学校選抜大会 東北地区予選会に出場して

2年D組 熊谷

雅

私たちバドミントン部は、男女「高総体3冠」、インターハイベスト8」を目標に楽しく、時には高め合いながら日々練習に取り組んでいます。

県新人戦では、男女ともに決勝戦へと進み、男子は0-3で悔しい結果となっていました。全員が最後の最後まで食らいつく姿はとても素晴らしいものでした。

女子は3-0で落ち着いたプレーができ8連覇を達成することができました。

それに続き、1月14日から16日にかけて秋田県で行われた全国選抜東北地区予選会で、男子は青森山田高

校と戦い格上である中フルセットまで持ち込む試合などで新人戦での経験を存分に発揮出来ました。女子は常盤木学園と第1ダブルスを取り、大接戦の中第2ダブルス、第1シングルスを取落しました。第2シング

ルスを取り、第3シングルスもフルセットまで持ち込みましたが、惜しくも2-3で敗れ、ベスト8決定戦へと進みました。決定戦では、山形城北高校と戦い0-3で敗れました。

結果は残念ではあったものの、一人ひとりが、成長する事が出来た試合だったと思います。新人戦、東北選抜を通して男女とも今後の大会への目標を定める事ができ、高総体でアベック



優勝する目標がより強く再設定出来ました。これからはそれぞれが意識を強く持ち、お互いが高め合えるよう全力で取り組んでいきます。

最後に日々の練習や大会に向けて応援・サポートし

て下さった先生、先輩、コーチの方々にしっかりと感謝の気持ちを持ち、結果で恩返し出来るような練習を有意義に取り組んでいきたいと思えます。これからも応援よろしくお願ひします。

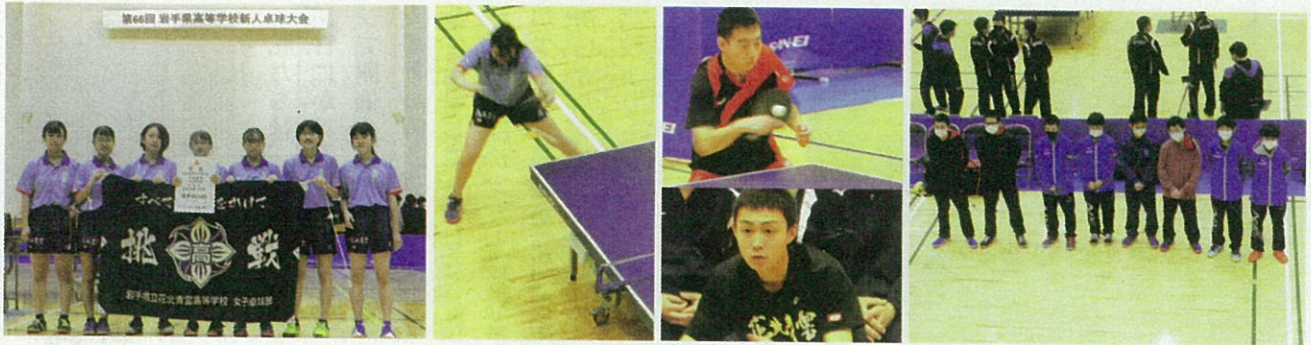


第60回岩手県高等学校新人バドミントン大会









令和2年度岩手県高等学校新人卓球大会



令和2年度全日本バレーボール選手権大会岩手県大会・花巻地区予選



ソフトボール部活動

第52回岩手県高等学校選抜インドアソフトテニス大会



PFSC ボランティア活動



令和2年度岩手県高等学校新人ワープロ競技大会



令和2年度岩手県高等学校新人ワープロ・珠算・電卓競技大会(OA部)



# 1学年

## がん教育講演会

令和2年11月24日(火)

「がんの予防、治療、緩和ケア」  
患者さんと家族を支える

講師・岩手県立中部病院副院長  
兼第1緩和医療科長  
星野 彰氏

### 1年C組 塚澤 千草

がんが身近な存在であることを再認識できた。今回の講演会で「緩和ケア」というものをはじめ、治療は辛く、苦しいだけのものという印象が強かったが、食事や音楽、カフェなど様々なケアで辛さを緩和し、「生きたい」と思えるような前向きな気持ちになれる設備や支援があることに感動した。また、最後の患者



さんのお話で涙が止まらなかった。子どもを残して亡くなる母親の気持ち、まだ、子どもなのに母を失う子どもの気持ち、まだ、どちらも想像するだけで耐えられないくらい辛かった。だからこそ、将来、自分が大人になって子どもをもったとき、そんな気持ちにならないように、そんな気持ちにさせないように、今から生活習慣に気をつけ、たばこやお酒は控えて、少しでも長く健康に生きられるようにしたい。

### 1年D組 阿部 凜果

今回の講話で、「がん」の恐ろしさを深く知ることができました。私は今までがんは自分には関係ないと思っていました。自分は、しっかり運動もして、家族に喫煙者もいない、健康だと思ったからです。でも、がんは、誰がかかってもおかしくない、自分の中からできる病気だと知りました。そして、自分は何にもしていないのにいつの間にかがんになっている可能性があるというところが本当に恐ろしいと思いました。命を守るために、これからたばこは大人になって絶対にすわないこと、食事は、食塩を摂り過ぎないことに注意して生活していきたいです。そして、がん検診をしっかり受けようと思いました。また、つらい病気で苦しんでいる人たちのつとそばで支えている医師や看護師、薬剤師、栄養師……などの人たちは、本当にすごいと思いました。患者さ



んのつらさや痛み、心のケアをするために常にそばで支えているのは、大変だと思います。それでも、一人一人の命を大切に一生懸命考えている姿を知ってとても印象に残りました。私は将来、理学療法士になりたいと考えています。お話を聞いて、苦しんでいる人々を助けたいと強く思いました。

# 2学年

## 花巻市地元企業 バーチャル見学会

今年度は新型コロナウイルス感染症の状況により、2学年はインターネットを活用して実施されました。そこで、花巻市とジョブカフェ岩手が6企業(株式会社アイオー精密、サンポット株式会社、志戸平温泉株式会社、株式会社中央コーポレーション、東北シャノン株式会社、花巻農業協同組合)を招き、本校

多目的教室で「地元企業バーチャル見学会」を開催しました。画像や動画で説明をうけ、実際に企業を訪問したような体験ができました。

### 【生徒の感想から】

●今回来ていただいた6つの企業は全国でも有名な企業ばかりでした。花巻市にこんなすごい企業があると知り誇りに思いました。また、今回の説明会で自分はコミュニケーションを大切にしたいと感じました。また、自分で考え、自分の意思で行動できるようにしたいです。

●どの企業の人も「自分で考え行動できる人がほしい。」と言っていたことが印象に残りました。また、花巻農業協同組合の方が「信頼は未来の自分、信用は過去の自分」と言っていたことが一番印象に残りました。

●サンポット株式会社の方が「できないことじゃなくてできることを探す」とおっしゃったことが印象に残りました。これから信頼してもらえようように日頃から意識して生活していきたいです。

●今回のガイダンスを通して、今まで思っていた会社の印象やイメージが変わりました。株式会社アイオー精密では日本最大級の実績を残していたり、女性の方が現場で働くことができることを知りました。ガイダンスを通して会社を深く知ったり、イメージが変わったりしてとても良い経験ができました。

●どの企業も地元に対して愛情を持っていて、地元をよりよく

したい・地元のために何かをしたいという思いで働いていた。今回話を聞いた6社は、それぞれ異なる分野だが、地元を盛り上げて地元へ貢献しようとする気持ちが伝わってきて、自分も地元に対して何か貢献できるようにしたいと思った。

●ガイダンスに参加して印象に残ったことは、1つの仕事をずっとするのはなく、社内でも移動があり、いろいろな仕事を経験させる会社が増えていることです。また、入社後もスキルアップが必要で、就職しても勉強が必要だということ強く感じました。

●どの企業の人達も本当に自分の仕事を楽しんでいると感じました。企業ごとの動画を見て、どの企業も床がともキレイで、しっかり整理・整頓されていたのが印象に残っていました。

●6社の仕事内容や会社の特徴、コンセプト、目標を知ることができました。特に志戸平温泉が印象に残りました。志戸平温泉の目標が「お客様に楽しんでもらう」であり、「従業員も楽しく仕事をしないとお客様も楽しくない」という考えを知り、サービス業や接客業をする上での考え方や気持ちの持ち方を深く知ることができました。

●6つの企業とも地元が好きで、地元へ貢献できるような活動をしていた。また、持続可能な社会を目指して地球に優しい活動をしているのがとても印象的で良いと思った。

●どの企業も地元に対して愛情を持っていて、地元をよりよく

したい・地元のために何かをしたいという思いで働いていた。今回話を聞いた6社は、それぞれ異なる分野だが、地元を盛り上げて地元へ貢献しようとする気持ちが伝わってきて、自分も地元に対して何か貢献できるようにしたいと思った。

●ガイダンスに参加して印象に残ったことは、1つの仕事をずっとするのはなく、社内でも移動があり、いろいろな仕事を経験させる会社が増えていることです。また、入社後もスキルアップが必要で、就職しても勉強が必要だということ強く感じました。

●どの企業の人達も本当に自分の仕事を楽しんでいると感じました。企業ごとの動画を見て、どの企業も床がともキレイで、しっかり整理・整頓されていたのが印象に残っていました。

●6社の仕事内容や会社の特徴、コンセプト、目標を知ることができました。特に志戸平温泉が印象に残りました。志戸平温泉の目標が「お客様に楽しんでもらう」であり、「従業員も楽しく仕事をしないとお客様も楽しくない」という考えを知り、サービス業や接客業をする上での考え方や気持ちの持ち方を深く知ることができました。

●6つの企業とも地元が好きで、地元へ貢献できるような活動をしていた。また、持続可能な社会を目指して地球に優しい活動をしているのがとても印象的で良いと思った。

●どの企業も地元に対して愛情を持っていて、地元をよりよく



●印象に残ったところは企業から来ていただいた方々が私たちの目をしっかりと見て自分たちの会社を紹介していたことです。今はコロナという感染症で会社が大変なのに私たちに時間を割いてくれることはとても貴重だと思いました。色々な企業の特徴や仕事内容を知ることができました。インターンシップの機会が無くなり困っていたので改めて開催してくれたことに感謝です。

●バーチャル映像で見た仕事の様子が一番印象的でした。工場の中を見られる機会は滅多にないので貴重な機会でした。工場の中がイメージと違い、思ったよりもきれいで驚きました。どの企業も働いている方々の姿はとても熱心で、その仕事にやりがいを感じているように見えました。また、女性の方も多く、花巻でも女性が活躍できる会社があることを知ることができました。

## 3学年

### 着こなしセミナーに参加して

3年B組 齊藤 寿情

私はスーツを着用するのは今回が初めてで少し緊張しましたが、教えていただきながら着用してみると「身が引き締まり、自分もこれからは1人の大人として見られるという思いが高ま



りました。

講座では、初めて人と対面するときの第1印象がとても大切だということ学びました。スーツを着ると、誰もがフォーマルな印象を受けますが、スーツの着用の仕方や身に付けているものが、スーツに合っていないと逆に印象が悪くなってしまふことが分かりました。スーツや礼服を着る場面には、式典や葬儀、面接や仕事などがあり、それぞれに合ったイメージの服装にすることで、人の気持ちを左右することも感じました。また、スーツには基本的に香水をつけないということを知り、自分が何気なく常識だと勘違いしている知識やマナーを見直す機会にもなりました。今回着用させていただいたスーツの他にも、カバンの選び方や革靴の手入れの仕方など、身に付けるものを使用するにあたって注意すべきことを詳しく説明していただき、大変勉強になりました。

私は春から大学へ進学し学生として生活するので、就職する人よりはスーツ着ることが少ないと思います。しかし、インターンシップや式典、入社面接など大事な場面にスーツを着ることになるので、今回教えていただいた着こなしやマナーなどを忘れずに活用したいと思います。

3年D組 佐藤 優衣

私は、この度着こなしセミナーでスーツを着させて頂きました。スーツを着るのはこの時が初めてだったため、とても緊張しました。私は、スカートスタイルの紺を基調としたスーツを着ました。初めてスーツを着用してみても、普段着ている制服とは違う気持ちになりました。気持ち引き締まり、自信に満ち溢れるような感覚を味わいました。着るものが変わるだけで見た目は、もちろんですが、気持ちも大きく変わると思いました。



私が一番印象に残っている言葉は、人のイメージは第一印象でほとんど決まるといふ言葉です。これからスーツを着る機会が多くあると思います。今回の着こなしセミナーで学んだことやTPOに合わせたスーツ選びをして、周囲に良い印象を与えられるようにスーツを着こなしたいと思います。

### 講話 「くすりについて」

令和2年12月8日(火)

「医薬品と健康」

お薬手帳の使い方について

講師・学校薬剤師 高橋 清夫氏 (フロンティア薬局 薬剤師)

3年C組 川村 理子  
今日の講話を聞いて、自分の今までの薬の扱い方を見直すきっかけになった。飲む量やタイミングはきちんと守っていたけどそれ以外は説明書をきちんと読んでいなかった。どんな薬でも一度説明書を目を通して正しい知識を得てから使用するようにしようと思った。体調を崩した時、薬に頼ることが当たり前になってしまっているけど、そうなる前に日頃から適度な食事、運動、休息をとることを意識して生活していきたいと思った。

また、頭がよくならない、強い身体が欲しいという理由で薬に頼るべきではないことを学んだ。聞いたときに理解していても、実際に自分がその立場になると焦りや不安から適切な判断がしにくくなってしまふと思う。どんな時でも冷静に判断し、かかりつけ薬剤師に相談することも大切だということを知った。近年、未成年者の大麻利用者が急増していることを知った。海外では、大麻が合法の所もあるということを知っていたけど、アメリカの高校生の45%が利用したことがあるということには驚いた。日本でも高校生の0.3%が利用したことがあるという回答がでており、千人のうち3人は利用していることを知って危険ドラッグの乱用が他人事ではなく身近なものになっているのだと思った。  
ドラッグは自分の健康に害を与えたり周りの人に迷惑をかけ



# 一年間の軌跡

## 【情報工学科】

### マイコンカーラリー北東北大会 アドバンスクラス優勝

3年A番 浅沼 和哉

たりしてしまう恐れがあるので興味本位などで手を出さないようにしたい。自分の身体や健康は自分で守れるように生活していきたい。

3年D組 菊池 恭平  
今日の講話を通して、普段生活で使用することのある薬について改めて学ぶことができた。薬は腹痛や風邪の際に使用される身近で便利なものであり、その便利さばかりに目を向けているが故にその危険性についても忘れてしまっていると感じました。今までは、食前や食後の薬について飲む時間を意識してきませんでしたが、これからは決められた時間を意識して安全な使用について心掛けていきたいと思いました。

ドーピングについて、普通に使用している薬の中にその成分が含まれていることを初めて知りました。薬それぞれに成分があり、組み合わせ等について専門の人に聞き、危険のない組み合わせをできるようにしたいと考えました。そして、大麻等の危険ドラッグについては一切使用することのないようにしたいと思います。自分の健康を害する物を自らが使用することのないように気をつけて生活したいと思います。「自分の健康は自分でつくるもの、守るもの」という言葉を忘れずにこれからは健康的に生きることができるよう、食事や運動、生活のリズムも意識していきたいと思えます。



2年度マイコンカーラリー北東北地区大会

令和2年11月3日花北青雲高等学校で、マイコンカーラリー北東北大会が行われました。大会では、練習でのベストな状態を維持して臨みました。本番は2回走らせることが出来ます。1回目の走行スタートが始まりました。順番を待っている時、車体の一部分をマスキングテープでいつもより丁寧に物を固定し、いつもは気にしていなかったタイヤの向きも揃えました。万全の準備を整え、1走目を走らせました。しかし、コース最後の直角カーブでコースアウトしてしまい、リタイアという結果で1走目が終了しました。いつもの練習ではほとんどが完走出来ていたが故に、衝撃を受けました。次の走行は、完走を安定させるために速度を落

とすべきかと、一瞬思いましたが、やはり練習でのベストな状態で走らせたいという気持ちが大きかったです。もう一度、一から車体を見直しました。いつものメンテナンス同様ネジなどをしっかりと締めていると、1回目の走行の順番を待っている時、マスキングテープやタイヤをいつもとは違う状態にしていたことが、コースアウトした原因ではないかと考えました。そこから、車体をいつもと同じ状態にすることを考えました。上記の2つの他に、体育館が複数の暖房により暖まっていると感じました。タイヤにシリコンの影響により、コースをとらえにくくなっている可能性があると考えました。そのため2走目に呼ばれるまで、外の涼しい空気が当たる所に車体を持っていき待機していました。そして、2走目が始まりました。走り出してからスピードに乗って、コースもしっかりととらえているように見えました。コース最後の直角カーブは、無事曲がることができ、完走しました。タイムは15秒45で自己ベストが出



令和2年度マイコンカーラリー北東北地区大会

ました。嬉しかったです。また、優勝することができました。部活動で分らないことがあったとき、優しく教えてくださった先生方、先輩方、同級生や後輩の皆さん、本当にありがとうございました。この経験を忘れず、これからも頑張っていきたいです。

## ものづくりコンテストに参加して

2年A組 佐々木 志恩

11月7日に黒沢尻工業高校で開催された高校生ものづくりコンテストに出場してきました。ものづくりコンテストとは、当日出題された課題に応じて入力回路を設計、製作し課題どおりの動作を行うプログラムを作成し、それらの正確さを競う競技です。

私は去年のものづくりコンテストにも参加したのですが、練習もそれほどできずに本番を迎え、なんとか入賞はしたものの



もう少し頑張れば上位を狙うことができたなと悔しい思いをしました。そこから私は目標を岩手県大会優勝としました。

去年の反省から、練習始めた頃はプログラム練習はせず基板のはんだ付けの練習のみを行いました。去年経験したとはいえ、とても優勝できるような完成度の物は作れなかったからです。プログラムの練習は、1ヶ月前程度からはじめ、自分の想像よりも出来が悪かったため、そこからは毎日のように先生に付き合ってもらい夜遅くまでプログラムを見ていただきました。また、基板の練習をおろそかにする訳にはいけないので、先生にお願いして毎日工具を持ち帰り家で基板の練習もさせていただきました。その中で、もう一人の出場者と情報交換をし合い、技術を互いに高め合うことができました。

そして私は、先生方の多大なご協力のおかげで目標としてい



た、ものづくりコンテスト岩手県大会で優勝することができました。ですが、ここが終わりではありません。今大会で優勝できたことで、来年度の東北大会への出場権を手に入れることができたので、今度はそこに向けてさらに技術の向上を図ってみたいのです。

最後に、ある意味での私の我儘に付き合ってください先生方には感謝しています。ありがとうございました。そして、来年度の東北大会もよろしくお願いたします。

## 【ビジネス情報科】

### 石鳥谷商店街「ぶらっと」マルシェを通して

2年B組 赤坂 真心  
今回、石鳥谷商店街にあるお店で、「ぶらっと」マルシェに初めて参加させていただきました。今年はコロナの影響で混雑を避けるために朝早く開店したり、レジの場所を外にするなど工夫しながら実施しました。

お店が開店してからはあまり緊張せず、お客さんとコミュニケーションを取りながらできたのでよかったです。前日にテーブルの配置や商品の陳列を考えて用意したことが当日に役立っていたのでとてもうれしかったです。一番大変だったことがレジ打ちで、機械が止まったり、何度も押し間違えたりして、お客さんに迷惑をかけてしまいました。しかし優しく見守って



ださって、町の方の温かさに触れることが出来ました。

今回初めて経験することがたくさんあり、学校生活では学べないことを学ぶことが出来ました。今の世の中、アルバイトがしにくい状況になっていきますが、将来に役立つ能力はボランティアでも身に付けることができますと思うので、とても貴重な経験になりました。

2年B組 多田 七海  
11月15日、私たちは石鳥谷商店街にある「ぶらっと」マルシェ



に初めて参加させていただきました。商店街でボランティア活動をするのは初めての経験で、緊張や不安がありました。その一方で地域の方との触れ合いを楽しみにしていました。

今回、コロナ禍という状況の中で様々な工夫をして実施しました。こうした状況に柔軟に対応できたのは、事前にお店の方と打ち合わせをし、準備をしっかり行ったおかげだと思えました。

当日は、県内各地から仕入れた、たくさんの商品とともに青雲高校オリジナル商品も並び、想像以上の人で賑わいました。販売した商品もほとんど売れ、とても嬉しかったです。私はレジ打ちを担当しました。多くのお客様が一気に列に並んだため、始めはミスもありましたが、友達と協力し対応することが出来ました。

この活動を通して、地域の方々の優しさを感じ、少しでも貢献することが出来たので良かったです。



## 【総合生活科】

### 家庭クラブ 研究活動を通して

2年D組 高橋 千夏

昨年4月「家庭クラブ研究班」を選出した私たち14名は、半年後に控えた研究発表大会に向け、早速取り組みを開始した。

今年度はコロナウイルスが流行したため、私たちの活動は「マスク作り」からスタートした。

困っている人たちに役立ててほしいという思いから「お助けマスク」と名付け、校内に手作りの布製マスクを設置した。次に、昨年度の先輩方の研究をさらに発展させることを目標に、花巻市の特産品「雑穀」について、今年度の研究方針を検討した。私たち自身も、雑穀は食べることがあっても、なかなか身近に感じず頭をだいたい悩ませた。そこで今年度は「日常食」「間食・補食」「保存食・非常食」という3つの視点からアプローチすることで、様々な場面で雑穀をより身近な食材として摂取できる献立づくりに取り組むことにした。研究を進めていくうちに雑穀の扱い方、摂取の仕方を理解することができ、15種類のレシピを考案した。栄養価を算出し、雑穀を活用する効果が確認できたことで研究の成果を実感することができた。

しかし、残念なことに今年度の地区大会は、コロナウイルス流行のためリモートでの参加と

なった。半年間の成果を直接審査員の方々に聞いてもらえなかったことはとても残念だったが、前向きに考え発表者として15分間の原稿づくりに精一杯取り組みることができた。このような大役を務めたのは初めてだったので、カメラ越しでも緊張したけれど、堂々と発表できた。結果は残念ながら2位でとても悔しかったが、今までの研究に加え、新しく知り得た情報を分かちやすくまとめられたことに充実感を得ることができた。

その一方で、昨年に比べ今年度は地域の方々と交流の場を作ることは叶わなかったため、今後はもっと地域との交流を深め、雑穀の魅力幅広い世代に知ってもらいたい。

また、今年度は、これまでの継続研究の成果として、先輩方が試行錯誤を繰り返して研究してきた「雑穀甘酒」を活用した「青雲どらやき」が完成し、青雲祭で3学科コラボ商品として販売





された。総合生活科で研究した雑穀甘酒が地元の菓子店「丸文」様のご協力でどらやきの生地となり、大変好評で人気商品となった。

現在私たちは、これまでの共同研究を踏まえて、各種コンクールに応募することを目標に、個人研究に取り組んでいる。一人一人がより良い結果を出せるよう試行錯誤を繰り返して、応募の準備をしている。

私たち家庭クラブ研究班は、一人一人が自分の意見をしっかりと持ち、改善すべきところはみんなで話し合い意見を出し合うことができる。それぞれの個性を生かすことのできるメンバーが揃っていた。この一年の研究活動で学んだことは、きっと将来につながる貴重な経験だったと思う。この経験を生かして、今後はさらに実力を伸ばし、高校生活最後の一年を大切に過ごしていきたい。

### 生活産業経営実践を通して

3年D組 小原 美咲  
3年D組総合生活科では、「生活産業経営実践」という授業を通して地域のことを学び、地域貢献を達成するための活動をし発信してきました。

青雲祭では、花巻の特産品を生かした料理の考案をしました。まず、花巻の情報を知り、コンセプト作成、試作、まとめ（アウトプット）という流れで行いました。特産品を生かした



料理では、各班のアイデアや料理工程を何度も研究し、試作を重ねることで完成させることが出来ました。試作途中では、特産品をより良く生かすために商品開発についての専門家の話を聞き、さらにクオリティの高い物に仕上げるものが出来ました。今年度の青雲祭では、コロナウイルスの影響で作った料理の提供はできませんでしたが、しかし、料理・活動資料の展示をすることで地域貢献を促しました。来校された方々には、「美味しそうですね」という言葉を沢山頂くことが出来ました。少しでも多くの方に興味をもって貰えたという実感を持つことが出来ました。また、保護者感謝会では提供出来なかった各班の料理をお弁当にして、感謝の気持ちとともに贈りました。

私たちがこのテーマについて考える背景には、私たちのふるさとである岩手の人々の姿があります。私たちに託って生まれ育ったふるさとを岩手しかありません。そのふるさとを救える

のは私たち地域住民ではないのでしょうか。たとえこれが机上の空論でしかなくても、この生活産業経営実践という授業を通して地域について考え、伝えるということが、ふるさとを救う小さな一歩になると私たちは信じています。

### クリスマススタバストリーを作って

3年D組 大下 美夏  
12月、私たちは5つの班に分かれてクリスマススタバストリーを製作し、近隣の保育園や高齢者福祉施設に寄贈するという取り組みをしました。製作するタペストリーは、真ん中にツリーの絵だけがあり、オーナメントなどの飾り付けは自分たちで行い、仕上げるというものでした。

どの班もまずは背景の色塗りから始めました。「クリスマスMASの夜」をイメージした藍色や紫、黒などの暗めの色を使うグ



ループが多かったです。私たちのグループも夜をイメージしましたが、絵本にあるような世界観、妖精がすんでいるようなイメージにしたいと思い、黄色などの明るめの色も使ったグラデーションを背景にしました。境目が分からないように重ね塗りをしたのがとても大変でした。背景の色塗りが終わると、それぞれ飾り付けに入りました。プレゼントがいっぱいのツリーや大きなリボンが目立つツリー、家の中にあるツリーを表現するなど、飾りの付け方はどこのグループも違って面白かったです。もっと細かく見てみると、毛糸や綿を使って雪が降る野を表現したり、折り紙

でプレゼントの箱や靴下を折ったり、フェルトを使ってサンタクロースや人形などのオーナメントを作ったりなど、タペストリーひとつひとつに個性があり、様々な思いが込められているのだろうと感じました。今までのように完成されたタペストリーを見るのも楽しいですが、こうして手作りしていく楽しさを知ることが出来るのもこのタペストリーのいいところだと思います。私たちが作ったクリスマススタバストリーは保育園の子どもたちや高齢者福祉施設のおじいちゃんおばあちゃんに見ていただける機会ができたので、喜んでくれていると嬉し



### 3年D組感謝会

#### 保護者感謝会について

3年D組 美秋の母  
高橋 美恵子

総合生活科3年間の集大成として行われる予定だった保護者

感謝会。今年度は、生徒達が調理したお弁当を持ち帰り、各家庭で感謝の気持ちを伝える形で行われることになりました。

1月29日（金）、娘から手渡された包みの中には、豪華なお





弁当と三種のデザートが入っていました。彩り豊かで、雑穀や甘酒を混ぜるなど素材に工夫を凝らした美味しいものばかりでした。高

校生の柔軟な発想と調理の技術には、本当に驚かされました。

さらに、お手製の箸袋、各自がそれぞれに描いたお弁当の掛け紙（我が家は私と夫の似顔絵でした）、手紙を添えるというサプライズ付きとは……。娘の手紙には、反抗期で素直になれずにいた気持ちや、今までの感謝の言葉が丁寧に綴られていて、思わず涙がこぼれました。

例年のような感謝会を開催せずとも、我が子はもちろん、総合生活科全員の成長と感謝の気持ち、十分伝わってきまっています。最後に親ならば全員が思っている気持ちを代弁します。「心を込めて作ってくれて、ありがとう。」



## 未来デザイン地方創生 はなまき政策アイデアコンテスト2020 最優秀賞 ダブル受賞!! 会場特別賞

ビジネス情報科3年 佐々木優希  
八重樫美空  
総合生活科3年 千葉 愛佳  
多田 葵

10月30日（土）未来デザイン地方創生はなまき政策アイデアコンテスト2020が開催されました。私たちYAMAチーム（4人の名前の頭文字から取ったもの）は、プロジェクト「花巻の食いしん坊たち、集まれ！〜持続可能な活気と魅力あふれるまちづくりを目指して〜」を発表し、最優秀賞と、観客が選ぶ会場特別賞をダブル受賞しました。

私たちチームYAMAは、地方創生やまちづくりに興味のある4人が集まり、昨年7月に結成しました。地元・花巻市の地域活性化を目指し、現在もプロジェクトを継続しています。花巻市のために何かをしたいと集まった私たちは、まず、花巻市が抱える2つの課題に着目しました。

1つ目の課題は、若い世代の人口流出です。高校卒業後、進学や就職を理由に、花巻市を離れると言う回答が約4割で、26%の人が将来Uターンすることはないとアンケートで回答し

ています。私たちの身近なところでも、若者の地元離れはどんどん進んでいるのです。

2つ目の課題は、経済面におけるインバウンド依存です。花巻市は、花巻空港発着の台湾や香港へのチャーター便があることから、インバウンドの推進を図ってきました。年間の観光客数は約5万人にも上り、インバウンドの存在が経済の活性化に一翼を担っていたといえます。しかし、新型コロナウィルスの影響により、インバウンドの客足は途絶え、花巻市の経済は打撃を受けてしまったのです。

若者の減少は、将来花巻市を担う生産人口への負担を増加させます。また、インバウンドへの依存は、今後何らかの原因で海外とのつながりが途絶えたとき、花巻市の経済を回す役割の欠如にも関わるのです。課題をふまえ、これまでのインバウンドの観光客ではなく、若者、特に高校生ターゲットにすることに、さらによりよい経済循環を生むことができるのではないかと同時に地元の魅力を離れることが多く、同時に地元の魅力を知ることや、そこに住む人で経済を

回すことが問題解決の糸口になると考えました。花巻市で暮らす若者に花巻市の魅力を知ってもらい、地元の店に足を運ぶ仕組みを作ること、活気と魅力があふれる、持続可能なまちづくりが行えるのではないのでしょうか。地元の店を訪れてもらうためには、そこに行くまでの交通手段が必要ですが、車を運転できない高校生のために思いついたのが、市街地循環型バスです。

私たちが考案したプロジェクトが「食（しょく）坊（ほう）ガチャ」です。このプロジェクトの内容を説明します。花巻駅にガチャガチャを設置し、そのカプセルの中には、バスの乗車券、花巻市内の飲食店の商品をモチーフにしたプロローチ、その店舗で使える割引券を入れます。価格は、1回500円で、60個限定です。ガチャを回した人が、乗車券を使ってバスに乗り、対象店舗の最寄りのバス停で降車し、お店で割引券を使ってお得に飲食を楽しめるという内容です。行先となる指定の飲食店として、計6店舗にご協力いただくことにしました。



はなまき政策アイデアコンテストにてこのプロジェクトを発表し、最優秀賞と会場特別賞をいただいたことが大きな自

信となり、このアイデアを実際にやってみることにしました。しかし、プロジェクト実行に向けての準備は大変難しく、想像以上に時間がかかってしまいました。それでも、私たちは、一人ひとりが持つ長所に合わせて役割を分担して活動し、アイデアを形にすることができたのです。まず、バス会社やお店、ガチャを設置する花巻駅と交渉をしながら進めたいと思います。この役割は、商品の仕入れから販売までを授業で行い、交渉には慣れているビジネス情報科の優希と美空が担いました。

次に、カプセルの中身の製作です。対象店舗の人気商品を、樹脂粘土を用い、ミニチュアサイズで再現します。この役割は、高度な調理技術を習得し、手先が器用になった、食文化コースの葵が担いました。そして、ガチャ機や看板のデザインの考案です。この役割は、子供でも理解しやすく、見て楽しくなるような工作やイラストについて学習し、ぱっと目にするのが得意な、福祉コースの愛佳が担いました。

さらには、食坊ガチャについてたくさんの人に知ってもらうために、チラシを配ったり、SNSで発信したり、メディアの取材を受けたりと、宣伝活動も全員で頑張りました。バスの乗車券や割引券、チラシのデザインは、絵を描くのが得意な友だちにも手伝ってもらいました。







令和2年度進路概況  
進路指導部 三浦 秀樹



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、突然の休校

や各種大会・学校行事の中止などの緊急事態に対応しての1年間であったが、3年生は「自分は何をすればいいのか、何に頼ればよいか」を自ら考え、民間就職44名、公務員9名、進学83名(2月18日現在)の内定・合格者を出し、例年と遜色ない結果を出せたことに進路指導担当としてホッと胸を撫でおろしている。オンラインによる試験(就職・進学)や・会社見学・オンラインキャンパスもあり、またマスクを着用しての面接など過去に例のない事態に生徒はよく対応できた。就職希望者は例年よりも求人票は約2割減少したが、予想以上に生徒の希望業種・職種にあった企業の求人に恵まれたのも幸いした。ミスマッチはなかったもの

の、他校就職希望者のレベルも上がっており、厳しい結果を経験した生徒も数多くいたことは来年度の課題として今後検討をしていきたい。日程も例年の9月16日開始から1か月後の10月16日となり、戸惑いもあったが生徒は動揺することもなく、遅れた1か月を準備期間としてとらえ余裕をもって受験できたと思われる。結果、例年と変わらない合格率を残したことは何よりであった。2年次2月に本校体育館で実施した管内企業説明会を皮切りに、4月から総合的学習の時間(木曜日5〜6校時)で模擬面接や筆記試験対策に真剣に取り組んだことが好結果につながったと思われる。外部講師を招いての講演や特別課外講座などにおいても、態度の良さにお褒めの言葉をいただき、好結果が出るだろうという手ごたえを感じるほどであった。

公務員希望者も9名の採用が決定した。コロナ禍により安定志向が強まり、例年よりも高い競争率により苦戦を強いられることも予想されたが、生徒は地道に取り組み合格を見事に勝ち取った。毎日の計画的な家庭学習と外部講師ガイダンスへの積極的参加、そして何よりも目標実現のための学習意欲の向上が見られた。特にも2次試験・3次試験の面接試験対策のため、平日の放課後夜遅くまで盛岡の専門学校で面接指導を受ける生徒もおり、そうした努力が報われた成果と思われる。最後まであきらめずに合格という可能性を信じて地道に取り組んだことが9名採用という成果を生み出したことと言えよう。

進学希望者は釧路公立大学経済学部1名・福島大学経済経営学類1名・岩手県立大学総合政策学部1名・同ソフトウエア情報学部4名の国公立大学7名をはじめ多くの進学先を決定しており、生徒達の努力が報わ

れたことに満足している。しかし、今年度は地元志向が強く、東北地区の国公立大学を志望する一部の生徒は第1志望に合格することができなかった。私立4大の進学者も23名の合格者であったが、来年度もオンラインによる試験等も含め、日程や試験方法等で突然の変更が予想される。こうしたことにも対応できるように本校としても準備を整えていきたい所存である。4大・短大については指定校推薦・一般推薦やAO入試による受験を多くの生徒が希望して合格したが、1・2年生の進学希望者は志望先の入試制度を熟慮した上で対策を立てるべきである。卒業生の進路先を決定することが出来たのは、保護者の皆様のご指導と本校教育へのご理解によるものと思われる。この場を借りて感謝申し上げる次第である。本校での進路活動は3年生での総合的学習を軸としているが、その活動を通して「見る力」「問う力」「試みる力」「関連づける力」「つながる力」の育成を目指している。本校が目指すのは地域で協働できる人材の育成である。

生徒が本当に当事者意識を持っていくならば、提案や発表にとどまらず、自分のアイデアを実現させようと行動するはずである。いろいろな経験を積み重ねて大人になった時に当事者意識を持って地域の課題に取り組めるようになり、この地域を離れたとしても故郷を忘れず、いずれ何らかの形で地域にかかわってけるのだと期待している。将来地域で活躍する人材の育成を目指し、進路指導部として生徒の進路実現に向けて自走できる生徒を育成するために、どの時期にどのような進路の仕かけが有効なのかを考慮し、生徒が自分の中から将来への思いが湧き上がってくるような指導を図っていきたくと考えている次第である。







# 令和2年度後期部活動等成績

## 硬式野球部

◆令和2年度夏季岩手県高等学校野球大会  
花巻地区予選  
対遠野○6-5 (延長11回サヨナラ)

◆令和2年度夏季岩手県高等学校野球大会  
代表 県大会出場  
1回戦 対高田●2-12 (7回コールド)

◆第73回秋季東北地区高等学校野球  
岩手県大会花巻地区予選  
1回戦 対花巻南●7-8 (延長10回)  
敗者復活戦 対花巻農●2-7

◆ソフトボール部  
岩手県ソフトボール交流大会(高総体代替)  
1回戦 対北上翔南○21-14 (5回コールド)  
準々決勝 対高田 ○9-1 (6回コールド)

◆4校同時優勝 文部科学大臣賞受賞  
◆第67回岩手県高等学校新人大会  
ソフトボール競技花巻地区予選  
1回戦 対花巻南 ●5-6

◆第67回岩手県高等学校新人大会  
ソフトボール競技  
1回戦 対水商金ヶ崎岩谷堂○14-7 (5回コールド)  
2回戦 対千厩 ●0-15 (4回コールド)

◆第26回岩手県高等学校新人選抜  
ソフトボール大会  
予選Cトーナメント  
1回戦 対一関一●0-7  
交流トーナメント  
1回戦 対盛岡農●5-6

## 卓球部

◆令和2年度新人大会  
団体2回戦 対一関工●1-3  
個人シングルス

村本翔哉 3回戦  
対山本(専大北上) ●1-3  
山本 陸 2回戦 ●1-3

対藤井(水沢工) ●1-3  
高橋裕登 1回戦 ●1-3  
菊地 幹 (一関一) ●1-3

◆令和2年度ジュニア2次予選  
個人シングルス  
村本翔哉 2回戦 ●0-3  
阿部円音 1回戦 ●0-3

◆令和2年度全国高等学校選抜卓球大会  
(個人戦) 岩手県予選  
個人シングルス  
山本 陸 7回戦 ●0-3  
対高橋和(盛岡市立) ●2-3

◆令和2年度新人大会  
団体5回戦 対一関二●1-3  
第3位 選抜県予選出場  
個人シングルス

藤原流空 2回戦 ●0-3  
対石川(一関一) ●0-3  
佐藤柚佳 6回戦 ●0-3 第3位  
対石川(一関一) ●0-3 第3位

菅原ゆらら 2回戦 ●1-3  
対槻山佳(一関二) ●1-3  
玉山千愛 3回戦 ●1-3  
対熊谷(一関一) ●1-3

## 排球部

◆令和2年度全日本バレーボール  
選手権大会花巻地区予選  
予選リーグ  
対花巻北 ●0-2  
対紫波総合●1-2  
対遠野 ●0-2  
対花巻東 ●0-2

◆令和2年度岩手県高等学校新人大会  
バレーボール競技花巻地区予選  
予選リーグ  
対花巻東 ●0-2  
対花巻北 ●0-2  
対遠野 ●0-2  
対紫波総合●0-2

◆第73回全日本バレーボール高等学校  
選手権大会岩手県予選会

◆令和2年度全日本バレーボール  
選手権大会花巻地区予選  
予選リーグ  
対花巻北 ●0-2  
対紫波総合●1-2  
対遠野 ●0-2  
対花巻東 ●0-2

◆令和2年度全日本バレーボール  
選手権大会花巻地区予選  
予選リーグ  
対花巻北 ●0-2  
対紫波総合●1-2  
対遠野 ●0-2  
対花巻東 ●0-2

◆令和2年度全日本バレーボール  
選手権大会花巻地区予選  
予選リーグ  
対花巻北 ●0-2  
対紫波総合●1-2  
対遠野 ●0-2  
対花巻東 ●0-2

◆令和2年度全日本バレーボール  
選手権大会花巻地区予選  
予選リーグ  
対花巻北 ●0-2  
対紫波総合●1-2  
対遠野 ●0-2  
対花巻東 ●0-2

◆令和2年度全日本バレーボール  
選手権大会花巻地区予選  
予選リーグ  
対花巻北 ●0-2  
対紫波総合●1-2  
対遠野 ●0-2  
対花巻東 ●0-2

◆令和2年度全日本バレーボール  
選手権大会花巻地区予選  
予選リーグ  
対花巻北 ●0-2  
対紫波総合●1-2  
対遠野 ●0-2  
対花巻東 ●0-2

◆令和2年度全日本バレーボール  
選手権大会花巻地区予選  
予選リーグ  
対花巻北 ●0-2  
対紫波総合●1-2  
対遠野 ●0-2  
対花巻東 ●0-2

## 羽球部

◆第60回岩手県高等学校新人バドミントン大会  
団体2回戦 対西和賀○3-0  
3回戦 対盛岡三○3-0  
準々決勝 対千厩 ○3-0  
準決勝 対水沢 ○3-0  
決勝 対前沢 ●0-3 第2位 東北大会出場

◆第60回岩手県高等学校新人バドミントン大会  
団体2回戦 対西和賀○3-0  
3回戦 対盛岡三○3-0  
準々決勝 対千厩 ○3-0  
準決勝 対水沢 ○3-0  
決勝 対前沢 ●0-3 第2位 東北大会出場

◆第60回岩手県高等学校新人バドミントン大会  
団体2回戦 対西和賀○3-0  
3回戦 対盛岡三○3-0  
準々決勝 対千厩 ○3-0  
準決勝 対水沢 ○3-0  
決勝 対前沢 ●0-3 第2位 東北大会出場

◆第60回岩手県高等学校新人バドミントン大会  
団体2回戦 対西和賀○3-0  
3回戦 対盛岡三○3-0  
準々決勝 対千厩 ○3-0  
準決勝 対水沢 ○3-0  
決勝 対前沢 ●0-3 第2位 東北大会出場

◆第60回岩手県高等学校新人バドミントン大会  
団体2回戦 対西和賀○3-0  
3回戦 対盛岡三○3-0  
準々決勝 対千厩 ○3-0  
準決勝 対水沢 ○3-0  
決勝 対前沢 ●0-3 第2位 東北大会出場

◆第60回岩手県高等学校新人バドミントン大会  
団体2回戦 対西和賀○3-0  
3回戦 対盛岡三○3-0  
準々決勝 対千厩 ○3-0  
準決勝 対水沢 ○3-0  
決勝 対前沢 ●0-3 第2位 東北大会出場

◆第60回岩手県高等学校新人バドミントン大会  
団体2回戦 対西和賀○3-0  
3回戦 対盛岡三○3-0  
準々決勝 対千厩 ○3-0  
準決勝 対水沢 ○3-0  
決勝 対前沢 ●0-3 第2位 東北大会出場

◆第60回岩手県高等学校新人バドミントン大会  
団体2回戦 対西和賀○3-0  
3回戦 対盛岡三○3-0  
準々決勝 対千厩 ○3-0  
準決勝 対水沢 ○3-0  
決勝 対前沢 ●0-3 第2位 東北大会出場

◆第60回岩手県高等学校新人バドミントン大会  
団体2回戦 対西和賀○3-0  
3回戦 対盛岡三○3-0  
準々決勝 対千厩 ○3-0  
準決勝 対水沢 ○3-0  
決勝 対前沢 ●0-3 第2位 東北大会出場

◆第60回岩手県高等学校新人バドミントン大会  
団体2回戦 対西和賀○3-0  
3回戦 対盛岡三○3-0  
準々決勝 対千厩 ○3-0  
準決勝 対水沢 ○3-0  
決勝 対前沢 ●0-3 第2位 東北大会出場

## 陸上部

◆第2020岩手県夏季陸上競技大会  
走り高跳 平野悠斗 1 m 91 優勝  
2部やり投 小瀬川宗 37 m 14 第7位  
第71回岩手県高等学校新人陸上競技大会  
やり投 小瀬川宗 39 m 99 第8位

◆第2020岩手県夏季陸上競技大会  
走り高跳 平野悠斗 1 m 91 優勝  
2部やり投 小瀬川宗 37 m 14 第7位  
第71回岩手県高等学校新人陸上競技大会  
やり投 小瀬川宗 39 m 99 第8位

◆第2020岩手県夏季陸上競技大会  
走り高跳 平野悠斗 1 m 91 優勝  
2部やり投 小瀬川宗 37 m 14 第7位  
第71回岩手県高等学校新人陸上競技大会  
やり投 小瀬川宗 39 m 99 第8位

◆第2020岩手県夏季陸上競技大会  
走り高跳 平野悠斗 1 m 91 優勝  
2部やり投 小瀬川宗 37 m 14 第7位  
第71回岩手県高等学校新人陸上競技大会  
やり投 小瀬川宗 39 m 99 第8位

◆第2020岩手県夏季陸上競技大会  
走り高跳 平野悠斗 1 m 91 優勝  
2部やり投 小瀬川宗 37 m 14 第7位  
第71回岩手県高等学校新人陸上競技大会  
やり投 小瀬川宗 39 m 99 第8位

◆第2020岩手県夏季陸上競技大会  
走り高跳 平野悠斗 1 m 91 優勝  
2部やり投 小瀬川宗 37 m 14 第7位  
第71回岩手県高等学校新人陸上競技大会  
やり投 小瀬川宗 39 m 99 第8位

◆第2020岩手県夏季陸上競技大会  
走り高跳 平野悠斗 1 m 91 優勝  
2部やり投 小瀬川宗 37 m 14 第7位  
第71回岩手県高等学校新人陸上競技大会  
やり投 小瀬川宗 39 m 99 第8位

◆第2020岩手県夏季陸上競技大会  
走り高跳 平野悠斗 1 m 91 優勝  
2部やり投 小瀬川宗 37 m 14 第7位  
第71回岩手県高等学校新人陸上競技大会  
やり投 小瀬川宗 39 m 99 第8位

◆第2020岩手県夏季陸上競技大会  
走り高跳 平野悠斗 1 m 91 優勝  
2部やり投 小瀬川宗 37 m 14 第7位  
第71回岩手県高等学校新人陸上競技大会  
やり投 小瀬川宗 39 m 99 第8位

◆第2020岩手県夏季陸上競技大会  
走り高跳 平野悠斗 1 m 91 優勝  
2部やり投 小瀬川宗 37 m 14 第7位  
第71回岩手県高等学校新人陸上競技大会  
やり投 小瀬川宗 39 m 99 第8位



庭球部

【男子】

◆岩手県高等学校新人大会ソフトテニス  
競技花巻地区予選  
根子・佐々木  
決勝 対花巻南○4-2  
優勝 県大会出場  
下留・畠山 対花巻南●0-4  
第7位 県大会出場  
佐藤・三上 対花巻北●0-4  
第9位 県大会出場

団体 3勝1敗 第2位 県大会出場  
リーグ戦1 対花巻農 ●2-1  
リーグ戦2 対紫波総合●3-0  
リーグ戦3 対花巻東 ●2-1  
リーグ戦4 対花巻北 ●1-2

◆第49回県下高校新人ソフトテニス  
一関大会  
根子・佐々木  
予選リーグ○2-0 第1位通過  
1回戦 対盛岡市立高校○4-3  
2回戦 対大船渡高校 ○4-2  
3回戦 対盛岡第三高校●1-4  
ベスト8

◆第65回岩手県高等学校新人大会  
ソフトテニス競技  
個人  
根子・佐々木  
2回戦 対水沢 ○4-2  
3回戦 対一関学院 ●2-4  
ベスト32 選抜大会出場  
団体2回戦 対宮古商工○2-1  
3回戦 対黒沢尻工●0-2  
ベスト16 選抜大会出場

◆第52回岩手県高等学校選抜  
インドアソフトテニス大会  
個人  
根子・佐々木  
1回戦 対岩手●0-4  
団体1回戦 対盛岡商●1-2

◆岩手県高等学校新人大会ソフトテニス  
競技花巻地区予選  
八重樫・菊池

決勝 対花巻南 ○4-3  
第1位 県大会出場

米田・吉田  
3位決定戦 対花巻南●0-4  
第4位 県大会出場

吉田・塚澤  
5位決定戦 対遠野 ●3-4  
第7位 県大会出場  
斎藤・佐藤  
13位代表決定戦 対花巻南●1-4  
第14位

団体 4勝0敗 第1位 県大会出場  
リーグ戦1 対花巻北 ●2-1  
リーグ戦2 対遠野 ●3-0  
リーグ戦3 対花巻東 ●3-0  
リーグ戦4 対花巻・紫波○2-1

◆第49回県下高校新人ソフトテニス  
一関大会  
八重樫・菊池  
予選リーグ2-0 第1位通過  
1回戦 対北上翔南○4-2  
2回戦 対一関二 ○4-0  
3回戦 対大船渡 ●1-4  
ベスト8

米田・吉田  
予選リーグ1-1 リーグ敗退  
塚澤・佐々木  
予選リーグ0-2 リーグ敗退

◆専門部夏季強化事業  
八重樫・菊池  
予選リーグ2-0 Aリーグ  
1回戦 対一関学院○4-1  
2回戦 対高田 ●0-4  
ベスト16

米田・吉田  
予選リーグ1-1 Bリーグ  
1回戦 対釜石 ●1-4  
吉田・塚澤  
予選リーグ0-2 Cリーグ  
1回戦 対花巻北 ○4-1  
2回戦 対宮古商工○4-1  
3回戦 対久慈東 ○4-0  
4回戦 対盛三 ●0-4  
ベスト4

◆岩手県高等学校新人大会ソフトテニス  
競技花巻地区予選  
八重樫・菊池

佐々木・大船渡東  
予選リーグ0-2 Cリーグ  
2回戦 対久慈東 ●3-4  
◆第65回岩手県高等学校新人大会  
ソフトテニス競技  
個人

八重樫・菊池  
2回戦 対盛岡商○4-1  
3回戦 対盛岡農○4-2  
インドア選抜大会個人戦出場権獲得  
4回戦 対高田 ●2-4ベスト16  
U-17・20選手選考大会出場権獲得  
米田・吉田 2回戦 対盛岡北●0-4  
吉田・塚澤 2回戦 対久慈 ●3-4  
団体1回戦 対住田 ○3-0  
2回戦 対一関一○2-1  
3回戦 対釜石●1-2ベスト16  
インドア選抜大会団体出場権獲得  
八重樫・菊池  
決勝トーナメント  
1回戦 対花巻北●1-4  
塚澤・佐々木  
予選リーグ1-1 リーグ敗退

◆第52回岩手県高等学校選抜  
インドアソフトテニス大会  
八重樫・菊池  
1回戦 対盛岡農○4-2  
2回戦 対盛岡二●1-4ベスト16  
団体1回戦 対一関学院●0-3

◆高円宮杯JFA U18サッカーリーグ  
J-LEAGUE  
第1節 対盛岡南 ●0-2  
第2節 対花巻南 ●1-4  
第3節 対花巻北 ●0-2  
第5節 対宮古 ●0-7  
第6節 対遠野緑峰○20-0  
◆2020岩手県U18サッカー大会  
対花巻南●1-3  
◆第99回全国高校サッカー選手権大会  
岩手県大会

1回戦 対大船渡東○2-0  
2回戦 対不来方 ●0-14  
◆第55回岩手県高等学校新人サッカー大会  
1回戦 対一関高専●1-2  
【女子】  
◆第26回岩手県女子サッカーリーグ  
第5節 対高校合同○5-1  
(勝ち点3) 1勝0敗  
第7節 対高校合同○4-1  
(勝ち点6) 2勝0敗  
第8節 対不来方 ○4-1  
第9節 対フォルタレオン●0-9  
最終節 対水沢 ●1-4  
3勝2敗(勝ち点9) 暫定4位  
◆第33回岩手県女子サッカー選手権大会  
対盛岡セブラ●0-25  
◆第29回全日本高等学校女子サッカー  
選手権岩手県大会  
準決勝 対不来方 ○2-1  
決勝 対専大北上●0-17  
準優勝 東北大会出場  
◆第29回全日本高等学校女子サッカー  
選手権東北大会  
1回戦 対八戸工大二●0-14  
◆第55回岩手県高等学校新人サッカー大会  
準決勝 対水沢 ●1-5  
3位決定戦 対高校合同○1-0  
第3位

吹奏楽部  
◆岩手県高校吹奏楽大会2020  
団体 クラスB 金賞  
◆令和2年度全日本アンサンブルコンテ  
スト岩手県予選花巻支部大会  
打楽器三重奏 銅賞  
管打八重奏 銀賞  
金管六重奏 銀賞  
金管三重奏 銀賞

◆令和2年度岩手県高等学校新人珠算・  
電卓競技大会  
団体(電卓競技の部) 第2位

文芸部

◆第43回岩手県高等学校総合文化祭  
文芸部門  
岩手県高校生文芸コンクール  
戸田 彩水 詩部門入選  
伊藤 基 戯曲部門優秀賞  
岡田 旭 随筆部門入選  
滝浦ゆいな 短歌部門入選  
佐藤 麻衣 短歌部門入選  
花北青雲高校 部誌部門入選  
◆第27回岩手県高校かるた大会  
(第43回岩手県高等学校総合文化祭  
小倉百人一首かるた部門)  
岡田 旭 第3位 東北大会出場  
太田 来奈 第5位 東北大会出場  
戸田 彩水 第7位 東北大会出場  
佐藤 愛美 第8位 東北大会出場  
◆令和2年度無段者高校生かるた大会  
佐藤 愛美 1組 優勝 昇段  
八重樫春希 2組 第2位 昇段  
宮里 心萌 3組 第2位 昇段  
◆第34回全国短歌フォーラム塩尻  
〔学生部〕  
岡田 旭 入選  
細川修太郎 秀作賞

OA部

◆令和2年度岩手県高等学校新人ワー  
プロ競技大会  
団体 第2位  
個人 平 彩斗 第6位  
八重樫菜咲 正確賞

P.F.S.C同好会

◆令和2年度はなまき！おもしろ探検隊  
ポランティア  
◆矢沢地域福祉センター夏祭り  
補助ポランティア  
◆レオクラブ石鳥谷駅清掃ポランティア



# 学年長より

## 〇1学年PTA報告

1学年長 金子 俊一

今年度の1学年PTAは去る12月4日(金)16時から本校にて開催されました。今年度はコロナ禍ということから例年のような授業参観は行わず、密を避ける目的で会場を二会場とし、多目的教室を主会場に、廊下を挟んだ向いのオープンシステム室にはリモートでの映像を流す形で行いました。

定刻を少し遅れてスタートし、小菅孝広学年委員長の挨拶、学校長の挨拶に続いて、報告・説明事項に入り、私学年長から役員紹介(今年度PTA総会が開催されなかったことか



ら・行事等の報告をしました。新型コロナウイルス感染症の影響で、PTA活動、1学年の行事とも中止されるものが多く、活動全般としては低調だったと言わざるを得ないのですが、今後暫くの間はこのコロナ禍とも付き合っていかなければなりません。

次に1学年の現状報告では、前期末考査までの成績の傾向、(授業への取り組み姿勢・欠点取得者の増加・提出物の提出状況等)朝学習・朝読書の重要性、今回の学年PTA開催に向けた動き、校内でのコロナ対策等、全体の概況についてお話ししました。

続いて今回のメインとなるコース選択・科目選択の説明に移り、加藤教務部長及び学科長より2年次の進路別選択科目の選び方のポイント、学科ごとの設定科目の特性・注意点等を話していただきました。最後に三浦進路部長より今年

度本校3年生の進路状況を踏まえて就職・公務員・進学それぞれの進路実績の具体的な数値を挙げていただき、親子での話し合いの重要性を説いていただきました。限られた時間ではありましたが、7割を超える保護者の皆様にお越しいただき、またその後の学級懇談会でも会員どうしの親交を深め、改めて保護者の皆様のお子様の進路に対する意識の高さと本校への期待の高さを感じた次第です。生徒の目標実現に向け職員一同誠心誠意努めてまいりますので今後ともより一層のご理解ご協力をお願いいたします。

## 〇2学年PTA報告

2学年長 葛西 崇



今年度は新型コロナウイルスの影響で2学年ではインターンシップが中止、修学旅行も1年間延期となりました。例年の2学年PTAは11月に修学旅行についての説明等を中心に開催していましたが、修学旅行を延期したため時期を遅らせて開催することとしていました。内容を3年生の進路指導に変えて2月に実施する予定でしたが、政府の緊急事態宣言と県内でのコロナウイルス感染状況を踏まえ、保護者の皆様が集まっていたり、配布資料について質問事項を提出していただき、後日回答する形といたしました。

今年度は新人大会は実施されましたが、高総体は中止となりました。

ました。一部の種目では代替大会が開催されましたが、残念な思いをした生徒も沢山いました。学校行事も中止や変更により例年と比べ充実した教育活動ができたとは言えません。来年度はいよいよ生徒達も「勝負の年」となります。コロナウイルスの影響を受けながら受験に臨むこととなります。学年全体で集まることも難しいかもしれませんが、担任や副担任との連絡を密にして子ども達の進路がよりよいものとなるように協力していきたいと思っております。

## 〇3学年PTA報告

3学年長 戸塚 敏彦



今年度の第1回3学年PTA(令和2年5月15日)は、学年概況、進路についての情報を提供し、3学年最大の目標である進路実現に向けて、学校と保護者様との間で共通認識を持つようにと企画しておりました。しかしながらCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)が国内外で猛威を振るい、その感染防止対策として、第1回目を中止させていただきました。配付のみとさせていただきます。

第2回3学年PTA(令和2年10月7日)は、生徒の生活様式となったことで、例年より1ヶ月早く実施させていただきました。第2回目は81.3%、113名のご出席をいただきました。改めて感謝申し上げます。

げます。

10月の学年PTAでは、学年概況、進路指導部からは進路希望状況について、10月16日に開始される就職試験について。大入試共通テストについて。生徒指導部からは在学中の自動車教習所通所にかかわる説明をさせていただきます。自動車教習所通所に関しては校内で幾つかの厳密なルールがあり、今回の説明を通し保護者様のご理解とご協力をいただきました。

進路について、令和3年1月現在、民間就職・公務員・進学のいずれも、順調に進めることができました。おかげさまで、今年度の3年生就職希望者は全員が内定をいただき、進学希望者も一般受験の受験生数名を残して多くの生徒が合格を手にしております。また公務員希望者は昨年同様多くの内定をいただきました。

このような素晴らしい進路実現を成し得たことは、生徒個々の努力も当然のことながら、精神面・健康面を支えてくださいました保護者の皆様のサポート無しにはあり得なかったものです。感謝申し上げます。

最後に、学年PTAの開催は、3学年PTA委員長、竹田真美様をはじめとして保護者の方々の多数のご出席がなければ成立できませんでした。本校の教育活動に関する保護者様の高い関心とご協力、温かいご支援を賜りましたことに改めて御礼申し上げます。3年間本当にありがとうございました。



# 3年間の軌跡

## ◎皆勤賞

- 3 A 浅沼 和哉  
川畑 光  
小田島和希  
小松 宏夢  
前川 尚潤  
3 B 井上勇士郎  
大熊 爽  
小原 望優  
菊池 香織  
菊池 千央

- 佐藤 真凜  
高橋 都  
竹田翔太郎  
徳田 芽依  
長谷川祥大  
林 純花  
平賀 碧海  
平野 悠斗  
3 C 池田 望眞  
伊藤 心響  
小原 あい

- 川村 理子  
菊池 渡和  
木村美花梨  
齋藤 陸奈  
佐々木理友  
佐々木優希  
玉山 綾夏  
畠山 颯也  
藤原 藍加  
藤原 絆夏  
細矢 怜史

- 3 D 三浦 優里  
吉田 愛理  
浅沼 葉桜  
岩淵 真歩  
鎌田 美優  
菊池理々捺  
黒澤陽世里  
千葉 愛佳  
似内 心

## ◎精勤賞

- 3 A 菅原 尋斗  
菅原 祐成  
半田 寛将  
松田 勝輝  
3 B 菊池 哲世  
斉藤 寿情  
佐藤こはく  
多田 雄渡  
藤原 芽衣  
吉田 千笑

- 3 C 石川 蒼紫  
菊池 佳保  
藤原 彩香  
松本 晃汰  
3 D 伊藤かがり  
小原 結依  
佐々木佑花  
佐藤 優衣  
高橋 美萩  
多田 葵

## 生徒会功労賞

(県大会優勝または最優秀賞、東北大会入賞、全国大会に出場した団体または個人)

- (1)第60回岩手県高等学校新入大会バドミントン競技  
女子学校対抗 優勝  
2 B 佐藤 綾香 2 B 吉田 愛梨  
2 C 門脇 愛弥 2 C 清水 美羽  
2 C 畠山 鈴未 2 D 伊藤 優花  
2 D 熊谷 雅  
女子ダブルス 優勝  
2 D 熊谷 雅・2 B 吉田 愛梨  
女子シングルス 優勝  
2 D 熊谷 雅

- (2)第49回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会  
女子ダブルス ベスト8 (全国大会出場)  
2 D 熊谷 雅・2 B 吉田 愛梨  
(3)岩手県夏季陸上競技大会  
男子 走り高跳び 優勝 1 m91  
3 B 平野 悠斗  
女子 やり投げ 優勝 43m82  
3 D 佐々木 雅  
(4)岩手県陸上競技選手権大会  
女子 やり投げ 優勝 47m85  
3 D 佐々木 雅

- 全国高等学校リモート陸上競技選手権大会  
女子 やり投げ 第8位 47m85  
3 D 佐々木 雅  
(5)ジャパンマイコンカーラリー北東北大会  
アドバンスクラス 優勝  
3 A 浅沼 和哉  
(6)令和2年度高校生ものづくりコンテスト2020  
岩手県大会  
電子回路組立部門 第1位  
2 A 佐々木志恩

## 令和2度・第55回 校内ロードレース大会結果

### ●特別表彰 (55位)

- 2 A 宮森 陸真  
1 B 阿部 希泉

### ●連続栄誉賞

- 3 D 小原 美咲 バドミントン  
3 D 高橋 美萩 バドミントン

### ●団体

- 1位 1 A 82.66 (タイム)  
2位 3 A 86.00  
3位 1 B 86.50

男子 8 km	年組	名前	所属部	記録	女子 4 km	年組	名前	所属部	記録
1位	3 B	吉田 怜仁	陸上競技男子	26分56秒	1位	3 C	佐々木優希	陸上競技	16分56秒
2位	2 A	瀨川 敬	陸上競技男子	29分42秒	2位	2 B	高橋 佳音	陸上競技	17分6秒
3位	3 C	畠山 源輝	陸上競技男子	29分46秒	3位	2 B	継枝 梨花	陸上競技	17分12秒
4位	3 A	松田 勝輝	吹奏楽	30分18秒	4位	2 B	八重樫 笑	陸上競技	17分31秒
5位	1 C	松葉 光琉	サッカー男子	30分33秒	5位	2 C	門脇 愛弥	バドミントン	17分36秒
6位	3 B	井上勇士郎	陸上競技男子	30分39秒	6位	2 C	畠山 鈴未	バドミントン	17分39秒
7位	1 A	及川 竜	バドミントン	30分44秒	7位	3 D	小原 美咲	バドミントン	17分39秒
8位	2 A	佐藤 舜	陸上競技	30分48秒	8位	1 D	阿部 凜果	バドミントン	17分40秒
9位	1 B	朝倉 大樹	陸上競技	31分2秒	9位	3 D	高橋 美萩	バドミントン	17分41秒
10位	2 A	伊藤光葉公	サッカー	31分15秒	10位	2 D	熊谷 雅	バドミントン	17分43秒



### 【男子1位】

3年B組  
吉田 怜仁

顧問の先生の期待に少しは応えられたと思います。



### 【女子1位】 3年C組 佐々木 優希

周りのおかげで優勝することができました。ありがとうございます。





令和2年度 PTA役員  
ありがとうございました

PTA役員 (敬称略)

会長 青木 俊樹

副会長 竹田 真美

瀬川 公

小菅 孝広

松田 悦典

福山 幸子

小原 嘉一

阿部 晃一

橋本 展子

太田 優子 (校長)

母親委員代表 徳田 蘭子

監事 菊池 ゆかり

藤原 静恵

木村 清師

理事 吉田 智美 (広報)

川上 翔 (広報)

青木 俊樹 (校外生活指導)

菊池 ゆかり (学習)

宮原恵美子 (環境整備)

伊藤 悦子 (母親)

菊池 まき子 (母親)

徳田 蘭子 (母親)

小原 友子 (母親)

◎2学年

委員長 瀬川 公 (学習)

副委員長 福山 幸子 (母親)

理事 小原 嘉一 (広報)

佐藤 絵理 (広報)

藤原 静恵 (校外生活指導)

千葉 雅樹 (校外生活指導)

沼田 玲子 (学習)

藤原 優 (環境整備)

高橋 和彰 (環境整備)

足利みどり (母親)

菅原 三鈴 (母親)

鈴木千代子 (母親)

◎1学年

委員長 小菅 孝広 (学習)

副委員長 阿部 晃一 (広報)

理事 橋本 展子 (母親)

須川 龍子 (広報)

八木 義夫 (校外生活指導)

佐々木佳奈子 (校外生活指導)

高橋 君江 (学習)

穴戸 里美 (環境整備)

木村 清師 (環境整備)

白石たみ江 (母親)

山中 和美 (母親)

橋本 展子 (母親)

晴山みずほ (母親)

PTA事務局日誌

令和2年

- 4月8日(水)・・・入学式、PTA入会式、PTA必携発行
- 4月9日(木)・・・PTA監査
- 4月15日(水)・・・1学年PTA理事会
- 4月21日(火)・・・第1回役員会・理事会
- 5月8日(金)・・・中部地区PTA連絡協議会(書面議決)
- 5月15日(金)・・・PTA総会(書面議決)、3学年PTA(中止)
- 5月20日(水)・・・PTA専門委員会  
(母親、校外指導生活、広報、環境整備、学習)
- 6月5日(金)・・・岩手県高P連定期総会(中止)  
創立70周年記念式典(延期)
- 6月12日(金)・・・第2回役員会(中止)
- 7月2日(木)～3日(金)・・・第69回東北高P連秋田大会(中止)
- 7月27日(月)・・・PTA環境整備委員会石鳥谷駅周辺清掃活動
- 8月19日(水)～21日(金)・・・第70回全国高P連島根大会(中止)
- 9月24日(水)・・・岩手県高P連母親委員会交流会
- 10月1日(木)・・・第3回役員会
- 10月7日(水)・・・3学年PTA
- 10月14日(水)・・・ロードレース大会ドリンク提供
- 10月16日(金)・・・PTA会報第102号発行
- 10月16日(金)・・・岩手県高P連会長研修会
- 10月29日(木)・・・登校時一声運動マナーアップ運動
- 10月31日(土)・・・青雲祭PTA展示食堂「おふくろ亭」(中止)
- 11月6日(金)・・・岩手県高P連事務局長研修会
- 11月13日(金)・・・PTA研修旅行(中止)
- 11月28日(土)・・・中部地区母親委員交流会
- 12月4日(金)・・・1学年PTA

令和3年

- 2月4日(木)・・・第4回役員会・理事会
- 3月1日(月)・・・PTA会報第103号発行
- 3月2日(火)・・・卒業式

1年間ありがとうございました

令和2年度 PTA広報委員会

委員長 川上 翔理  
副委員長 佐藤 絵智美  
委員 吉原 嘉一  
須川 阿部 晃一  
須川 小原 嘉一



今年度はコロナ禍のため、前半の部活動大会、学校行事、生徒会行事、PTA行事など様々な大会や行事が中止や縮小となり、原稿のネタに苦労しました。広報委員会も昨年度のように開催できない状況でしたが、PTA会報第103号が発行できるまでになりました。ご執筆をいただいた方々に感謝申し上げます。今後もよりよい紙面にしていきたいと思っておりますので、保護者の皆様からのご意見・ご要望を広報委員会までお寄せください。

TEL 0198-45-3731 FAX 0198-45-3746  
〒028-3172 花巻市石鳥谷町北寺林11-1825-1  
花北青雲高校 総務部 宛

印刷所 ■ 清水印刷